

医療福祉生協連の看護師求人サイト「CO-OP ナース」に掲載されている病院やそこに勤務する看護師の仕事を紹介します。

全国の看護師を応援！

## CO-OP ナース



宇都宮協立診療所の看護師のみなさん

**「まごころ」カードにこめた在宅チームの想い  
最期を迎える患者さんと家族に寄り添い「気持ちを伝える」アプローチ**  
栃木保健医療生協 看護介護部長 青柳るり子

きっかけは、外来と病棟の看護師が「お悔やみ訪問」でAさんのお宅に伺ったとき。Aさんはがんを患い、在宅で療養をされていましたが、経過が短く、最期は病棟で夫に看取られて亡くなられた患者さんです。ご夫婦愛がとても強く、残されたご主人から「大好きな妻が、何か私にメッセージを残していないだろうかと、家中探してしまつたとの大切な人に先立たれた家族の思いをお聞きしたことでした。  
\* デスカンファレンスでも、亡くなられた後に大切な人の気持ちを受け止めるより、元気なうちに思いを伝え合うためにはどうしたらいいだろう？

当医療生協は介護事業のほか、診療所2か所、訪問看護ステーションが1か所あります。全体で訪問診療を受けている患者さんは360人前後、終末期の患者さんも増えています。バレンタインデーの2月に、宇都宮協立診療所(有床診療所)の在宅チームが、患者さんに「まごころカード」をお渡しし、ご家族などの大切な人に「気持ちを伝える」とりくみをしました。

きつかけは、外来と病棟の看護師が「お悔やみ訪問」でAさんのお宅に伺ったとき。Aさんはがんを患い、在宅で療養をされていましたが、経過が短く、最期は病棟で夫に看取られて亡くなられた患者さんです。ご夫婦愛がとても強く、残されたご主人から「大好きな妻が、何か私にメッセージを残していないだろうかと、家中探してしまつたとの大切な人に先立たれた家族の思いをお聞きしたことでした。  
\* デスカンファレンスでも、亡くなられた後に大切な人の気持ちを受け止めるより、元気なうちに思いを伝え合うためにはどうしたらいいだろう？

という意見が出されていきました。スタッフから「1年のうち一度でいいから気持ちを伝える『カード交換』をしてみたらどうか」とアイデアが出され、在宅の看護師チームを中心にカードづくりが始まりました。  
訪問診療のときに、看護師から「カード」の手渡しをおこないます。患者さんからは「お世話になってるデイの職員さんに渡そう」「3人分もらつて家族で伝えあつてみようかな」など、人によつて大切な人は違つのだと、あらためて気付かされました。  
前田師長は「この活動は、患者さんを含めた地域の人たちが、助け合いながら生活を維持し、くらし続けられることにつながり、少しでも幸せだと思える日々を、重ねることができるようにとの願いを込めたとりくみの一歩です。これからも『地域住民の力になることを診療所の役割』として、日常的に多面的なとりくみが続けていきたいと思っています」と語ります。協立診療所在宅チームのチャレンジはこれからも続きます。



まごころカード

※亡くなった患者さんのケアを振り返り、今後のケアの質を高めること

医療福祉生協連の看護師求人サイト

## CO-OP ナース

<http://nurse-coop.jp/>



北は北海道から南は沖縄まで42都道府県にある、110の医療福祉生協。75の病院、337の診療所、187の訪問看護ステーション、28の老人保健施設を展開し、約1万2000人の看護職員が勤めています(2016年3月末現在)。全国ネットワークを生かした豊富な求人サイトを、完全無料で利用できます。

このサイトに載っていない事業所でも、気軽にお問い合わせください。